

アクティブ公民 青果店の立ちのきについて考えよう (教科書p. 64~65)

年 組 番

TRY1

①<対話>道路拡張をめぐって、AさんとB市の主張はそれぞれどのような権利が対立しているか、考えてみよう。

Aさんの主張：
B市の主張：

② B市はAさんを立ちのかせることができるだろうか。その理由とともに考えてみよう。

<input type="checkbox"/> できる ・ <input type="checkbox"/> できない
理由：

TRY2

①それぞれの主張は、憲法29条のどの規定に基づく主張か考えてみよう。

Aさん	<ul style="list-style-type: none">昔からこの土地で商売をしていて、お得意さんもいるので、別の土地に移転するのは難しいよ。うちのお店がなくなったら買い物に困る人がいるよ。	憲法の規定：
B市	<ul style="list-style-type: none">きちんと補償をするのですから、みんなのためを考えてほしいです。道路を拡張したら、多くの住民が安全に暮らせるようになります。	憲法の規定：

TRY3

①TRY1 で考えた A さんの立ちのきの是非について、人権、経済、環境、社会の発展の視点を参考にして改めて考えてみよう。

②<対話>①について、周りの人と意見交換をしてみよう。

③A さんと B 市の将来の姿を想像し、どのような解決方法が双方のためになるか、考えてみよう。

振り返り

◎…よくできた ○…できた △…あまりできなかった

道路拡張をめぐる権利の対立を通して、個人の尊重と公共の福祉のあり方について理解することができた。

(◎ ○ △)

さまざまな資料をもとに、効率、公正の見方・考え方を働かせて、解決方法を考えることができた。

(◎ ○ △)